

Cloud+

セキュアなクラウドの設計・構築、管理・運用とあらゆる業種でクラウドを展開できるスキルを評価

Prepare Your Workforce with Cloud+ Certification



CompTIA Cloud+ 認定資格を保有する社員を登用することで、クラウドのメリットを最大限に活用できるようになります

採用時のツール

CompTIA Cloud+ 認定資格を求人票の応募条件に記載することで、クラウドインフラストラクチャの実装、保守管理、および提供能力を持つ社員を確実に採用することができます。採用担当マネージャの86%が、評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。¹

ロイヤリティの高い社員

認定資格を取得している社員の84%は、会社を辞めずに働き続けるため、スキルの高い従業員から長期に渡り恩恵を受けることができます。²

高いスキルを有する社員

Cloud+ 認定資格によって、クラウドモデル、仮想化、インフラストラクチャ、セキュリティ、リソース管理、および事業継続に関する社員のスキルが証明されます。

ビジネスニーズの高まり

クラウドテクノロジーの急速な進歩に伴い、ビジネスニーズも急速に高まっています。クラウドコンピューティングの本質を理解しているプロフェッショナルを採用することは、確実性が高く、管理の行き届いたクラウドプロジェクトを成功させる鍵となります。

グローバルな認知

Cloud+ 認定資格の取得は、国際的に認知されたベンダーニュートラルな資格保有者としての信用につながります。クラウドモデル、仮想化、インフラストラクチャ、セキュリティ、リソース管理、事業継続における自身のスキルを証明することができます。

他者との差別化 / 競争力

Cloud+ 認定資格により、理想の仕事を手に入れる可能性が広がります。採用担当マネージャの86%が評価プロセス時にIT認定資格を重視すると述べています。³

需要の高いスキル

クラウドを使用する組織は、ネットワークシステムをアップグレードし、増大する負荷に対応する必要があります。そのため、多くの会社ではエンタープライズネットワークの改善に適した優秀な人材を募集しています。

キャリアの向上

CompTIA Cloud+ 認定資格により、クラウドインフラの実装、保守管理、適切にサービスを提供するスキルがあることを、確実に証明することができます。

仕事に対する満足度

CompTIA 認定資格を保有するITプロフェッショナルの76%が、自分の仕事に満足していると回答しています。⁴



"業界の業界による業界のための資格"

CompTIA 認定資格は、試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査・職務分析・リサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

CompTIA Cloud+ SME

- 海外 / 一部抜粋
 - Dept. of Navy
 - NTT Communications Corp
 - Department of Defense
 - Government Employees Health Association
 - Hitachi Data Systems
 - Disney
 - Oracle
 - Symantec
 - NetApp
 - BAE Systems
- 日本 (50音順)
 - NTTコミュニケーションズ株式会社
 - KDDI株式会社
 - 日本電気株式会社
 - 日本マイクロソフト株式会社



CompTIA Cloud+ 取得後は、次のようなキャリアで活躍できます

- クラウドエンジニア
- クラウドサービスのプロジェクトマネージャ
- データセンターの SAN 管理者
- クラウドのビジネスアナリスト

様々なグローバル企業では、自社の社員の育成に Cloud+ を必須 / 推奨資格として活用されています。

CompTIA Cloud+ 認定資格は、クラウドコンピューティングの環境において、設計・構築、保守・運用を実施される IT エンジニアの方に必要なスキルと知識を証明するワールドワイドの認定資格です。

CompTIA Cloud+ 認定資格試験では、企業や組織で運用されているシステムの一環として、クラウドテクノロジーを組み込み、管理・運用するためのスキルに重点を置いています。これは、ミッションクリティカルなシステムに、クラウドベースのテクノロジーを導入する企業や組織が増え、ハイブリットとマルチクラウドが標準となっているクラウド市場を反映したものです。CompTIA Cloud+ を取得することで、クラウドの設計・構築、管理・運用のスキルを有し、あらゆる業種でクラウドを展開できることを証明します。

主な出題範囲

CompTIA Cloud+ 認定資格は、24～36ヶ月のITネットワーク、ストレージ、データセンターなどでの業務経験を持つエンジニアを対象として設計されています。受験の際には、サーバー仮想化技術への主なハイパーバイザー技術などに精通していることをお勧めします。CompTIA Cloud+ 認定資格試験には、多肢選択式の問題とパフォーマンスベースの問題の両方が含まれます。

CompTIA Cloud+ (試験番号: CV0-002)	
1.0 コンフィグレーションとデプロイメント	24%
2.0 セキュリティ	16%
3.0 メンテナンス	18%
4.0 マネジメント	20%
5.0 トラブルシューティング	22%

試験実施概要

試験番号	問題数	制限時間	合格ライン
CV0-002	100問	90分	100～900のスコア形式 750以上

認定資格の詳細情報は、下記 Web サイトをご覧ください：

https://www.comptia.jp/certif/comptia_certification/